

<2020年度 活動報告・2021年度 活動計画>

関連産業振興委員会

委員長 傳法 昌幸

教育・研修・交流専門委員会

(木村 純一)

学術専門委員会

(武山 佳祐)

地域連携専門委員会

(村地 正行)

2021年6月3日

目次

1. 関連産業振興委員会委員会の概要
 - 1.1. 関連産業振興委員会の役割・方針
2. 2020年度 活動報告
 - 2.1. 教育・研修・交流専門委員会
 - 2.2. 学術専門委員会
 - 2.3. 地域連携専門委員会
 - 2.4 関連産業振興委員会
3. 2021年度 活動計画
 - 関連産業振興委員会
 - 関連産業振興委員会運営委員会
 - 教育・研修・交流専門委員会
 - 学術専門委員会
 - 地域連携専門委員会

1.1 関連産業振興委員会の役割・方針

- 全体の運営を取りまとめる運営委員会のもと3専門委員会を置き、経済環境、技術環境等の外部環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、**JIRA関連産業**（モダリティ機器、ソフトウェア、周辺機器、関連用品、関連工事、測定管理、保守サービス等）の**発展振興のための施策を企画、推進する。**
- JIRA画像医療システム産業ビジョン2025を受けて、関連産業振興委員会として今後3か年に以下の事業活動に注力し、コロナ禍で活動の制限を受けている最中、実現が可能な内容に絞って活動展開を図る。
 - WEBを含めた委員会活動を通じて地方企業が参加し易い様に連携を図り、会員企業の拡大に繋げる。
 - 医療法改正と医師働き方改革をチャンスと捉えて新たな製品、サービスを提供できるよう**情報を共有する。**
 - **JSRTとの連携強化**により、線量管理、感染予防の様々な課題に対して産業側としての解決推進を図る。
 - **AI等の新たな技術分野**に対して、JSRTと連携しながら議論を深める機会を設け、これらの新技術が、関連産業企業にとってどのような影響が生ずるか検討する。
 - 委員会内の役割分担を明確にし、世代交代も含め委員会活動の活性化を図る。

2. 2020年 活動報告

■ 2.1 教育・研修・交流専門委員会

JIRA関連産業の拡大発展のための有用な教育・研修を企画運営し、企業間の健全な情報交換、技術紹介や人脈交流等のイベントを企画、推進する。

● コロナ禍影響のため、予定していた企画がキャンセルとなった。

(1) 4月：ITEM研修会（Web-ITEMに変更の為中止）

(2) 6月：活動報告会（「政策企画会議特定テーマで報告」へ変更）

(3) 7月：標準化部会サイト設備設計グループ研修会（中止）

2. 2020年 活動報告

■ 2.2 学術専門委員会

日本放射線技術学会（JSRT）との連携を主体に事業を推進する。

- 総合学術大会、秋季学術大会、東京支部大会（春、秋）での共催イベントの企画運営を行う予定だったが、コロナ禍影響で中止となり活動ができなかった。

(1) 第76回JSRT 総会学術大会 [2020年5月23日~6月16日、Web開催] (中止)
JIRA ワークショップ：「医療現場における放射線 線量管理」

(2) JSRT 東京支部施設見学会 (2020年は時期を定めず延期を決定)
JIRA 会員企業の見学を予定。

(3) 第48回JSRT 秋季学術大会 [2020年10月15日~17日] (中止)
JIRA ワークショップ、JIRA 発表会、機器展示協力

(4) JSRT-JIRA ジョイントミーティングを開催予定。
東京支部ジョイントミーティング [2021年1月頃] (中止)
JIRA 会員企業の新製品・新技術紹介を実施予定。



(5) JIRA トピックス寄稿 [毎月] JSRT 学会誌への寄稿に対する原稿募集を行う (実施)

2. 2020年 活動報告

■ 2.3 地域連携専門委員会

各地域の会員企業の活動への参加と連携を拡大するため、地域においての研修会（見学会・講演会）を企画・運営する。

- 研修会(見学会・講演会) はコロナ禍影響で中止となったが、開催可能なWEBでのセミナーを実施した。

1月：講演会「AI（人工知能）と医療～今後の動向を考える」

◎講師

- ① 「AI(人工知能)と医療～今後の動向を考える」

コニカミノルタ（株）ヘルスケア事業本部開発企画部
笠井聡氏

- ② 「AI(人工知能)と医学への応用」

大阪大学 国際医工情報センター特任教授

三宅淳氏

- 88名の参加。



2. 2020年 活動報告

■ 2.4 関連産業振興委員会

- コロナ禍での会員企業実情把握のため、「新型コロナウイルス感染症対応状況」アンケートを実施した。
 - 経済部会 感染防止WGと共同で行った。

＜WEBアンケート調査結果＞

期間：2020年12月14日～2021年1月9日

対象：JIRA会員企業202社（2020年12月17日現在）

回収数：99社

回収率：49%

- JIRA版の感染防止ガイドライン（行動指針、訪問時や製品の感染症対策マニュアル等）の作成が急務であることを報告し、法規・安全部会 販売・保守委員会／経済部会 感染防止対策WGからガイド発行を行った。

3. 2021年度活動計画

■ 運営委員会

各専門委員会の活動状況等の情報共有を行い、各専門委員会が抱える課題解決について協議する。

■ 教育・研修・交流委員会

上半期（4月～9月）は新型コロナウイルス感染対策観点で、委員会開催のみとする。

下半期（10月～翌年3月）の活動計画は上半期中に委員会開催を行い議論したうえで決定する。

■ 学術専門委員会

引き続き日本放射線技術学会（JSRT）との連携を主体に事業を推進する。

これまでの活動を継続し、総合学術大会、秋季学術大会、東京支部大会（春・秋）での共催イベントの企画運営を行う。以下を重点項目として推進する

✓ 日本放射線技術学会（JSRT）との関係強化

- JSRT学会でのJIRA発表会、JIRAワークショップ等の活動を通じて、学会メンバーとの関係を築き、認知度をさらに上げていく。
- AI等の新しい技術分野に対して、JSRTと連携しながら議論を深める機会を設ける。

✓ 学会時のJIRA発表会、JIRAワークショップの活性化

- 機器展示への集客プロモーション目的で、機器展示のリンクを含め相乗効果を出せるよう仕掛けを作る。

3. 2021年度活動計画

■ 地域連携専門委員会

コロナ禍でも実施できる形で、研修会・講演会等を推進する。

- 年1～2回程度企画する。（原則WEB形式）
- 施設見学会は無

● テーマ案

①最新の医療機器・医療技術の知識・動向

②薬機法の動向、医療行政のトピックスの解説

- JIRA部会・委員会との協力・連携して計画し実施する。
- JIRA会員企業へ地域連携専門委員会への登録参加を呼びかけ、参加会員企業を拡大する。
- 研修会・講演会等に参加の会員企業に対して、関連産業振興委員会の**PRと勧誘**を行う。
- 関西及び中部地域での会員企業の登録参加を拡大する。また関連産業振興委員会への登録参加も併せて呼びかけ、委員会全体の活性化に寄与する。
- 地域の医療関連団体、診療放射線技師会、放射線技術学会との連携・交流を増進する。

JIRA

一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association